

## 主の苦しみを分かち合う

2013年8月9日 アシェル・イントレーター

もしすべての人々がすでに完全であるならば、苦しみは存在しないでしょう。それこそが神の最終的な目的です(黙示録 21:4)。それまでに、多くの悪がこの世にあります。ある人が正しくあろうと努力すればするほど、その人物に対して悪が対抗し、彼はより苦しむのです。私たちの目標はイエシュアのようになるのです。主が苦しまれたように、私たちも苦しむのです。

### IIコリント 1:4、7

神は、どのような苦しみのおきにも、私たちを慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。

人々は互いに傷付け合う傾向にあります。私たちが他者に愛を与える時、そこに痛みが伴います。愛の一つの性質として、それは「長く苦しむ」ことにあります(Iコリント 13:4)。不思議な方法で、私たちはイエシュアが感じられた同じ苦しみを共有し分かち合うのです。主は痛み、罪そして他者の機能不全を身に負うことで苦しみました。

### イザヤ 53:4

彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。

私たちが人々に仕える時、私たちは彼らのために愛し、祈り、彼らを持ち上げ、励まし、彼らの痛みを感じ、福音の真実を示してもそれを拒絶することによって苦しみ、私たちは十字架からイエシュアの油そそぎの愛を広げるのです。

### コロサイ 1:24

ですから、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。そして、キリストのからだのために、私の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。

苦しみの場面において、イエシュアと親密さを共有するのはこの上ない栄誉なのです。神のお心の痛みを感じることは、貴重で、互いの経験を主と共有するのです。

### ピリピ 3:10

私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、

主と共に苦しむところからのみ、イエシュアとの交わりと親密があるのです。主において信じるのが

できるのであるならば、主ゆえに苦しむことができるのです(ピリピ 1:29)。

### **I ペテロ 4:13**

**むしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。**

イエシュアが最初に苦しまれ、そして栄光に入られました。私たちが、ある度合いにおいて主の苦しみ共有すると、私たちはまた主の栄光を共有するのです(ローマ 8:17-18)。 苦しみのための苦しみは私たちの目標ではありません。むしろ、想像を絶する、永遠の喜びが私たちの前に用意されているがゆえに、イエシュアのように生きることを求め、自分の十字架を日々負うのです。(ルカ 9:23、ヘブル 12:2)。

### **悔い改め、多いか少ないか?**

ギル・アフリアット

霊的な成熟はより聖であること、罪はより少なく、しかし、悔い改めは少なくならないように行動しなければなりません。私たちが聖へと成長していくと、私たちの罪に対する認識と注意は高まります。聖霊は私たちの魂により光を投じ、そして私たちは以前見なかった、または無視してきた罪を見るのです。私たちは以前過小評価してきた罪の重さを知るのです。

逆説的に、私たちが罪を犯すのが少なければ少ないほど、より悔い改めるのです。

一度、私はある説教者が今罪を犯さなくなっているのに、自分は悔い改めることも少なくなったと公に話していたのを聞きました。その後、明らかにされたことは、彼は性的不品行に深く関わってきたことでした。霊的なプライドは私たちを惑わしへと導くのです。聖の中での真の霊的な成長はへりくだりが必要で、それによってさらに神の聖性を見、主の聖性の光の元、自分の罪を見ることとなるのです。

### **アロン師起訴される**

今週、人気がありカリスマ的なラビ・モティ・アロンがわいせつ行為の疑いで起訴されました。これは、イスラエル銀行の頭取候補である二人(フランケルとリーバーマン)が汚職疑惑で候補を取り下げた一週間後に起こりました。全国で世俗と宗教指導層両方に対する品性への疑問が広がっています。

## エジプトのデモ活動

ラメツ・アタラ(エジプト聖書協会)

7月26日、防衛省の要望に応じておよそ4千万人の人々が路上に出てムスリム同胞団(MB)の、攻撃的で秩序を乱す行動に対して団結を示しました。暴力行為は驚くほど少ない中、軽微な窃盗または女性に対するいやがらせなどが報告されました。

CNN、アルジャジーラ、そしてほとんどの西側諸国の報道機関は大勢の平和で浮かれたデモを行う人々を放送する代わりに、カメラは数千人の怒れるデモ活動やモルシ支持派の負傷者、そして犠牲者のショッキングな映像にフォーカスを当てました。

非常に取捨選択された一面だけが報道されます。ムスリム同胞団は「平和的なデモ活動者」であるという主張は、私たちが経験する路上で行われている暴力行為と残虐行為と相容れないのです。誰でもデモ活動を行う一人に近づいて歩く、あるいは運転するという不運を持つ者は、自身の手で自身の命を取る者です。

ほとんどのエジプト人は、ムスリム同胞団を拒絶していますが、エジプトが警察国家あるいは軍事国家になることに反対しています。そして、ムスリム同胞団の扇動者に対して押さえた行動を取るように治安部隊に圧力をかけています。私たちのほとんどは市民の国家としての民主主義を望んでいるのです。